

2025年度 摂南大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）自己点検・評価

自己点検・評価の視点	点検・評価結果
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	<p>数理・データサイエンス・AI教育プログラム委員会において、MDASHの教育プログラムの修得状況を分析した。</p> <p>2025年度における本プログラムの修了要件は、学部・学科ごとに定められている。現代社会学部、理工学部住環境デザイン学科、同生命科学科、経済学部、国際学部および看護学部では、本プログラム修了要件の科目を必修科目とし、その他の学部・学科では選択科目・選択必修科目としている。</p> <p>本プログラムは2024年度より開始し、主に1年次生が履修するため、必修科目としている学部でも2025年度の収容定員に対する履修率は50%～70%である。しかし、選択科目・選択必修科目としている学部・学科でも、入学者数に対して一定程度の履修率がある。このことから、本プログラムの重要性を認識している学生が一定割合存在していると考えられる。そのため、将来的には本プログラム対象科目の収容定員に対する履修率および履修済み学生の割合は増加することが期待できる。</p> <p>また、2025年度における本プログラム対象科目の修了率は、本学9学部のうち7学部において修了率が80%を超えており、多くの学生が到達目標を達成している。経営学部は修了率が24.5%と低いが、本プログラムは2024年開始、かつ経営学部では4科目の対象科目のうちの1つの「情報倫理」が2年次配当の選択科目であり、全体の履修者のうち当該授業を履修している学生が少ないためである。</p>
学修成果	<p>本プログラムの各講義では、ほとんどの学部・学科で独自アンケートを実施し、学生の理解度を調査している。設問内容は、データサイエンスの活用事例、分析方法についての知識、留意点についての理解度である。選択肢は理解度の高い順に1から5の数字を付しており、選ばれた選択肢の数値の平均値が低いほど理解度が高いことになる。このアンケートは講義の第1週（初回）と15週（最終回）に履修者に対して実施することで、該当する講義の履修前後での意識や理解の変化を調査し、学修成果の把握や評価・改善に活用している。</p> <p>また、本学で実施する通常の授業アンケートでは、修得できたと考える能力、理解度、関心度の高さなどについて尋ねている。期末に実施するこのアンケートは、該当する講義を履修することで得られた効果や講義運営上の課題を明らかにすることを目的としている。</p>
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	<p>上述の、全学で実施する通常の授業アンケートでは、「理解度」「関心度」「担当者の工夫度」に関する各問には、7割以上が良い評価をしている。このことから、履修学生の理解度は高まったものと考えられる。ただし、授業最終回における本プログラム対象科目共通のアンケートの回収率は全体的に低調であった。これは出席率とも関係している可能性があるため、今後は履修ガイダンスでもMDASHの意義を丁寧に周知するだけでなく、授業アンケートへの協力を丹念に呼びかける必要がある。そのための取り組みとして、1年生向けの演習科目（必修）の教材に授業アンケートの意義等についての項目を2026年度より設けている。</p> <p>また、通常の授業アンケートでは講義で修得できた能力について問う設問があるが、それに対する回答によれば、回答者の6割弱が「一般的な教養」、7割弱が「専門的な知識」を挙げている。データサイエンスの基本的知識を修得するというプログラムの目的に沿った成果が得られた、と多くの履修者が認識していると考えられる。加えて、全般的に講義を通して理解度が向上していることも確認できた。</p> <p>そして、本プログラム科目の独自アンケートによれば、2回目（最終回実施分）は1回目（初回実施分）と比べて、各設問で数値が0.5から0.7ポイント低下している。このことから、講義内容への理解度が高まり、一定程度の学修成果があったものと考えられる。</p>
学生アンケート等を通じた後輩等の学生への推奨度	<p>一部の学部・学科を除いて実施した本プログラム対象科目共通のアンケートでは、最終回実施分において、他の学生への推奨度を尋ねている。その結果、選択肢「1.（推奨が）十分にできる」「2. 少しでも」と回答したものが66%を占めていることがわかった。この回答結果によれば、推奨度はまずまずの数値となっている。すなわち、当該科目の履修者が今後の入学生に対して、履修を推奨することがやや期待できるものである。しかしさらなる改善が必要と考えられる。</p>
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	<p>本プログラムを構成する講義は、2024年度に、5学部6学科で必修科目として開講した。本プログラムを選択もしくは選択必修科目とする学部・学科も含めて、2027年度以降、全学共通の教養教育科目「データサイエンス基礎」を開講し、これを全学の必修科目とする方針である。2026年度より、経営学部では「データサイエンス基礎」1科目をプログラム対象科目に変更することになっている。直近では履修者数を増加かつ安定させるため、新学期の履修ガイダンス等においてデータサイエンス教育の重要性を学生に説明する。また、履修者に対しては、課題の提出率を向上させ、講義内容修得の効果が得られることを目指す。具体的には、成績評価に占める課題の割合を見直すこと、さらにこれら課題のうち、講義中に取り組むものを設定するなどの方策が有効と考えられる。</p>
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	<p>プログラムは2024年度開始であり、本プログラムの対象科目は、2年次配当科目である経営学部の「情報倫理」を除き、1年次配当科目となっている。そのため、2025年度末の時点で、本プログラムを修了した卒業者は0名である。このような事情から、具体的な企業の評価や進路は不明であるが、今後は就職課の協力を得て、入社先の企業を対象としたアンケートを実施することで、意見を募ることを検討したい。</p>
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	<p>本学で実施するアンケートや本プログラム対象科目共通のアンケートおよび数理・データサイエンス・AI教育プログラム委員会による自己点検・評価を通じて、改善に向けた課題が明らかになっており、これらについて、順を追って改善を進めていく。得られた意見等については、教育推進会議を通じて全学的に共有を行う。</p> <p>なお、このプログラムは2024年度に開始したものであり、まだ履修経験のある卒業生はいないため、産業界（企業）からの意見は得られていないが、意見を収集するための仕組み作りを検討している。</p>

2025年度 SU-MDASH（リテラシー） 履修者数等実績

履修者・修了者の実績

学部・学科名称	学生数	入学 定員	収容 定員	実施年度																		履修者数 合計	履修率
				2024年度			2025年度			2026年度			2027年度			2028年度			2029年度				
				履修者数	修了者数	修了率	履修者数	修了者数	修了率	履修者数	修了者数	修了率	履修者数	修了者数	修了率	履修者数	修了者数	修了率	履修者数	修了者数	修了率		
理工学部	2,240	585	2,400	362	320	88.4%	381	334	87.7%												743	31%	
国際学部	969	250	1,010	243	222	91.4%	285	261	91.6%												528	52%	
経営学部	1,223	280	1,132	269	0	0.0%	425	104	24.5%												694	61%	
薬学部	1,296	220	1,320	212	201	94.8%	215	200	93.0%												427	32%	
法学部	1,167	280	1,130	167	118	70.7%	181	141	77.9%												348	31%	
経済学部	1,171	280	1,128	272	237	87.1%	348	316	90.8%												620	55%	
看護学部	417	100	400	92	92	100.0%	107	107	100.0%												199	50%	
農学部	1,355	340	1,360	184	177	96.2%	228	217	95.2%												412	30%	
現代社会学部	770	250	750	224	198	88.4%	295	256	86.8%												519	69%	
合 計	10,608	2,585	10,630	2,025	1,565	77.3%	2,465	1,936	78.5%												4,490	42%	

注1 合計の履修率は、2024～2025年度の履修者数（延べ人数）の合計を、収容定員（1年分）で除した値。同一学生が複数年度履修している場合は重複してカウントされる。

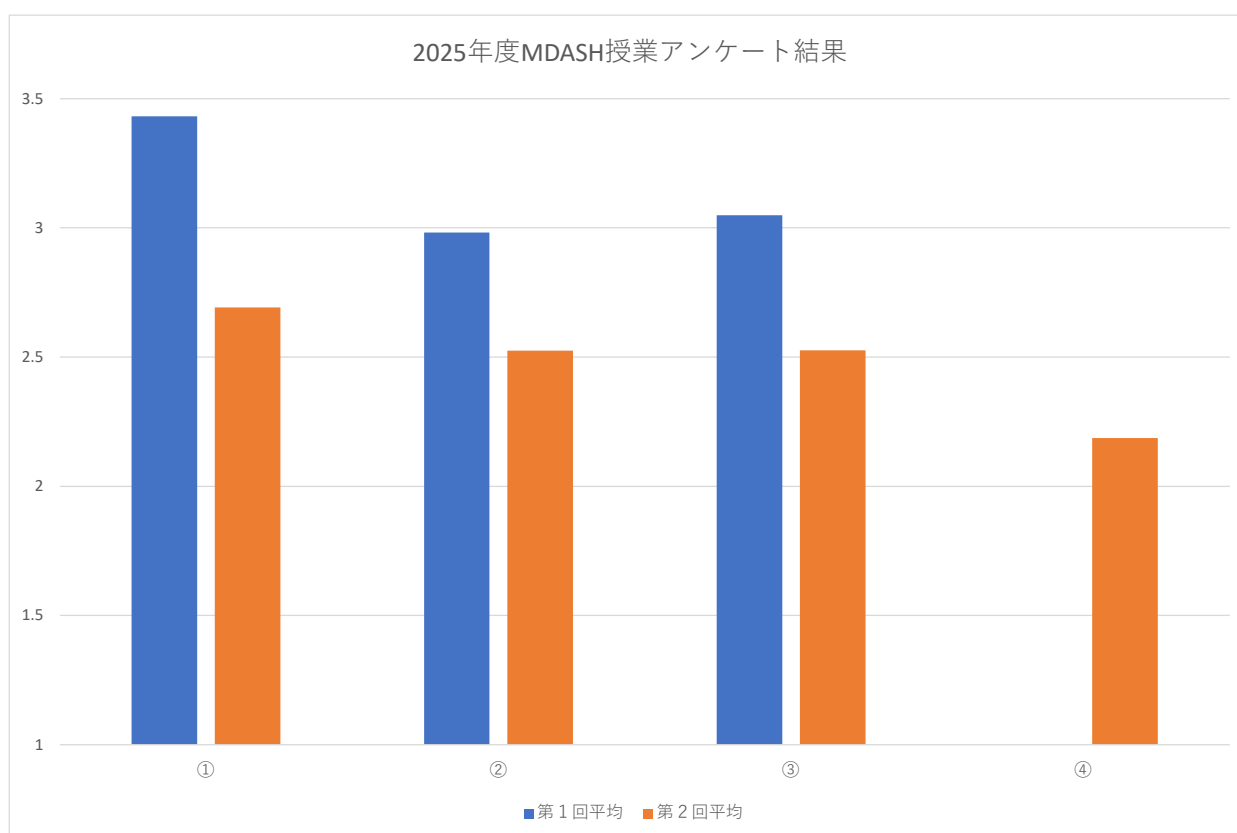
注2 合計の修了率は、2024～2025年度の修了者数を、同期間の履修者数（延べ人数）の合計で除した値。履修者数には、同一学生が複数年にわたり履修している場合も重複してカウントされる。

SU-MDASH（リテラシー） 独自アンケート結果 2025年度

	①	②	③	④	
	データサイエンスの活用事例について説明できますか？	収集したデータを読み解いてその特徴を分析することはできますか？	データを扱うための留意事項（情報モラルや情報セキュリティ）について説明できますか？	この授業の他の学生への推奨度を回答してください。	回答者数
	1. 十分にできる 2. 少しできる 3. どちらともいえない 4. ほとんどできない 5. 全くできない				
第1回平均	3.43	2.98	3.05		2,100件
第2回平均	2.7	2.5	2.5	2.2	1,172件

※集計日時：2026/02/01

※第1回は1週目授業時に実施，第2回は15週目授業終了時に実施



## SU-MDASH（リテラシー）対象科目 授業アンケート結果 2025年度

設問 この科目の予習・復習（課題やテスト勉強などを含む）などに1週間に何時間かけましたか。

項目	回答割合
1. 0 時間	28.6%
2. 30 分未満	26.0%
3. 30 分～1 時間未満	23.9%
4. 1 時間～2 時間未満	15.7%
5. 2 時間以上	5.9%

設問 この科目の内容を理解できたと思いますか。

項目	回答割合
1. 全くそう思わない	1.5%
2. あまりそう思わない	6.0%
3. どちらともいえない	17.8%
4. そう思う	54.9%
5. 強くそう思う	19.8%

設問 この科目に興味や関心をもつことができましたか。

項目	回答割合
1. 全くそう思わない	2.5%
2. あまりそう思わない	7.3%
3. どちらともいえない	18.4%
4. そう思う	51.1%
5. 強くそう思う	20.7%

設問 教員は、この科目の授業内容を理解させるための工夫をしていましたか。

項目	回答割合
1. 全くそう思わない	1.6%
2. あまりそう思わない	5.3%
3. どちらともいえない	17.8%
4. そう思う	51.7%
5. 強くそう思う	23.6%

<参考>

回答者数
1,102件
回答率
33.1%